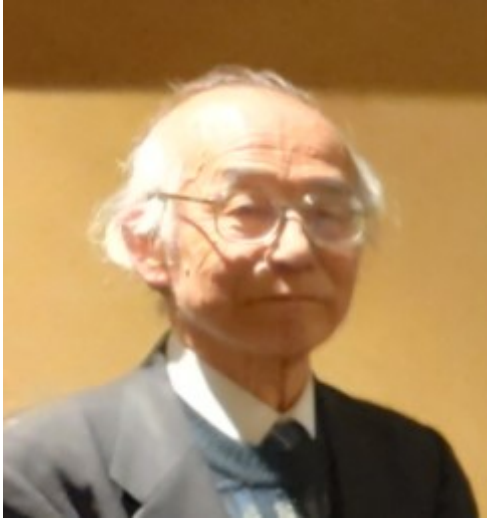


ジョークサロン新年あいさつ 令和7年1月7日

快鳥 曾田 英夫



新年明けましておめでとうございます。

今年は天気にも恵まれ、ジョークサロンの皆様には何事もなく、令和7年の新年を迎えられたことと思っています。

今年の新年会は、紆余曲折の末に平日の昼間とし、会場はここ大観さんをお願いして開催する事ができました。

昨年は台風で一度だけZOOMとし、あとはハイブリッドの2刀流で開催できました。顔を見合わせて笑い合うことがこんなに良いことだとさらに実感しました。

「伝笑鳩」は野本さんのご尽力で発行を続け、北海道のカー雑誌『カーピアセロム』では「ジョークサロン会員・リレーエッセイ」とともに「21精気ユーモ

ア・ジョーク拾場」を続けて掲載していただいています。今年も笑いを全国に配信していきたいと思います。

それに加えて、今年ニュースなのは7月28日に36周年を迎えます。このように長く続いてきたのも、ジョークを愛する皆様のお蔭だと思っています。私の経験では例えば店で買い物をしてジョークを飛ばしても、反応しない店員さんがいることは残念だと思っています。ジョークが全国に普及することを願っています。

昨年も多くの人々からカンパをいただき、この場をお借りして「ありがとうございます」とお礼を言いたいと思います。それに野本変集鳥のご尽力とご苦勞でホームページが元気です。

今年も4役を中心として頑張っていくので、皆様にはジョークサロンが更に盛り上がりますようにお願いします。

簡単ですが、新年会のご挨拶といたします。